



新温泉町ゼロカーボンシティ宣言

近年では地球温暖化が影響しているとみられる気候変動の影響により、世界各地で大規模自然災害が発生し、私たちの暮らしや社会活動に影響を及ぼしており、その対策は不可欠なものとなっています。

政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を表明、2021年に閣議決定された地球温暖化対策計画では、2030年度目標として、「温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。」ことを表明し、地方公共団体や民間企業等の主体による取組の重要性が示されました。

私たちのまち新温泉町は、日本海の魚介類や但馬牛を育ててきた豊かな自然環境と、温泉を取り巻く文化などを有し、古くから地域資源に恵まれたまちです。特に、湯村温泉では1971年から、浜坂温泉では1982年から配湯事業を行い、半世紀にわたり家庭での二酸化炭素排出抑制に貢献してきました。

これからは、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、脱炭素への取組を強化し、地域資源をフル活用して自分たちにできることを一つ一つ進めて行く必要があります。

そこで、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする、ゼロカーボンシティを目指し、町民、事業者、行政の「オール新温泉」で脱炭素の実現に向けて、全力で取り組むことをここに宣言します。

2023年5月24日



新温泉町長 西村 銀三